

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2016. vol. **10**
Take Free

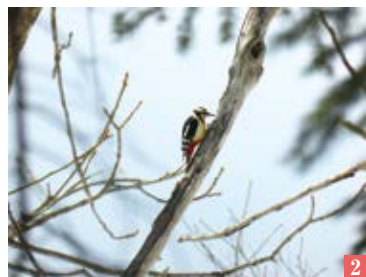
ハチクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

- 10 八幡平に生きる人
- 12 ~食材を求めて産直へ~ 今日のひと皿
- 16 ピッキーと行く八幡平

春
が
き
た
!





早春の森へ遊びに行く

1 コブシの冬芽。そっと触れるとふさふさして気持ちよい。やがて大きくなり、つぼみとなり、花を咲かせる。2 冬の森は、夏よりも木の葉がないので見通しがよい。鳥を見つけやすく、じっくりと観察ができる。3 暖かくなってくると、木の根元に「根開け(根回り穴)」と呼ばれる雪解けの穴ができる。

イーハトーヴォ安比高原自然学校

八幡平市安比高原 TEL 0195-73-6228

受付時間/9:30~17:00(コースクローズ18:00)

料金/コース利用料、レンタル料等の詳細は、要問い合わせ

<http://www.appi.co.jp>

春の楽しみ その 雪の楽園で散歩

冬から春へ
雪の森を楽しむ

「ホテル安比グランド」に隣接する森の中に1年を通して散歩が楽しめる自然散策路「あるぐう」がある。冬は雪上を快適に歩くためのスノーシューを履いてとなるが、春はスノーブーツでも散策を楽しめる。

森の中をてくてくと歩いていると、雪の上にはリスのかわいらしい足跡を発見! ウサギの足跡もある。上を見ると、アカゲラやシジュウカラなどの野鳥が美しい声でさえずっている。葉がなく、見通しがいよいよこの時期は初心者でも野鳥を見つけやすい。

散策路には、休める場所もあるので、ティーセットを持っていこう。自然の中でのティーブレイクは、屋内で味わうときと異なるおいしさが感じられる。

これからの季節、1日1日と散策路の風景が変わっていく。春の気配を探しに出かけるのもいいだろう。

春がきた!

風に春の気配が感じられるようになると、お出掛けがしたくなる。
早春の雪上散歩、イチゴ狩り、ドライブ……。
八幡平市には春の楽しみが盛りだくさん。



「ホテル安比グランド」の裏にある自然散策路「あるぐう」で散歩。森のティータイムも楽しめる。



彩花園

品種は紅ほっぺ、さがほのかなど5種類。なかには、桃に似た風味がする桃薫もある。「宝石のように輝いているイチゴが甘いんですよ」と伊藤優香子さん。完熟イチゴを煮詰めた、甘さ控えめの「イチゴジャム(300円・税別)」は、即完売の人気商品。パンやヨーグルトに添えて味わいたい。

●八幡平市大更31-111-3
●TEL 0195-76-4458
●営業時間／9:00～17:00、イチゴ狩りは10:00～15:00(要問い合わせ)
●料金(1時間)／大人1,500円、小学生1,300円、幼児1,000円(全て税別)
<http://www.9.plala.or.jp/saikaen/>
※天候や状況によって中止する場合あり。
来園前には事前連絡が必要



サラダファーム いちごの森

白いハウスで栽培されているのは、さちのかや章姫など7種類。土を使わない水耕栽培で、通路が広いので、ベビーカーや車椅子でもゆったりとイチゴ狩りが楽しめる。その後は、花の森レストランで「いちごの森パフェ(760円・税込)」を。イチゴ本来の味と食感を生かしたスイーツである。

●八幡平市平笠2-6-333
●TEL 0195-75-2500
●営業時間／金・土・日・月曜、祝日の10:00～15:00(最終受付14:00) ※完全予約制
●料金(40分)／大人1,800円、小学生1,500円、3歳～小学生未満800円、3歳未満無料、65歳以上1,500円
<http://salad-farm.jp/>
※花の森レストラン
営業時間は11:00～17:00、定休日は火・水曜



ミツバチによって自然に受粉をさせ、イチゴを実らせる。

完熟した赤いイチゴを
思う存分味わう

イチゴ狩りの醍醐味は、完熟したイチゴを時間内に好きなだけ味わうことができること。大きさにこだわると、ヘタの近くまで真っ赤で、表面がつやつやに輝いているものを選ぶとよいとか。赤く熟れたイチゴは甘く、ジューシーだ。

八幡平市内でイチゴ狩りができるのは、「彩花園」と「サラダファーム」の2園。冬から6月にかけて楽しめるという。採れたイチゴを使ったジャムやスイーツも販売しているので、あわせて味わいたい。

春の楽しみ その2 イチゴ狩り



ハウスに広がる
春の香り

身長より高い雪の壁！

春の名物といえば
雪の回廊と桜

4月中旬、冬季閉鎖だった「八幡平アスピーテライン」が開通する。その直後から5月中旬にかけて見られるのが、「雪の回廊」だ。高さ数メートルにもなる雪の壁が続き、秋田県側も含めると全長27キロと日本一の長さとなる。その年の天候や積雪量によって高さは異なるが、道の両側にそびえる雪の壁の迫力は満点で、見応えがある。

この時期、八幡平市内の桜が開花を迎える。冬と春の風景が同時期に楽しむことができるのも八幡平の魅力である。



今年の開通予定は、八幡平アスピーテラインは4月15日(金)10:00、八幡平樹海ラインが4月22日(金)10:00。天候によっては通行止めになる場合もあり。



桜が咲き乱れる春



▲平笠地区にある「上坊の一本桜」は知る人ぞ知る桜の名所。岩手山を背景にたたずむ姿は美しく、満開の時期になると、多くのカメラマンが訪れる。

◀岩手県民の森には、さまざまな品種の桜が存在する。芝生もあり、ピクニックがてら出かけるのもおすすめ。

春の涼しみその



お花見

一本だからこそ
空に映えて美しい桜

4月中旬に「八幡平アスビーテライン」が開通すると、八幡平市に本格的な春が訪れ、桜が咲き始める。いま、一本桜巡りを楽しむ人が増えているという。一本だからこそその存在感が好まれているようだ。岩手山を背景に立つ「上坊の一本桜」、小高い丘の頂上に立つ「為内の一本桜」が、それに当てはまるだろう。

一本桜に限らず、八幡平市内には桜の名所が多い。名もない山桜も風情があつていい。この春はカメラ片手に、あなただけの春を探しに出かけてはいかがだろうか。

◀小高い丘の頂上に立つ「為内の一本桜」。かつて神社があった場所で、神社移設のさいに残されたという。この一本桜は、昼には華やかな姿を見せるが、日が暮れると幻想的な雰囲気となる。私有地なので、付近への立ち入りにはご注意を。

八幡平に 生きる人

八幡平には、いろんな人がいて、
いろんなことを考えている。
共通するのは、
「こっつて、いいまちだよな」。
暮らしてこそわかる。
八幡平の魅力とは――。



納品に来たリンゴ農家の村木さんと。
「生産者は、私の先生。野菜のおいしい
食べ方を教えてください」

物産館あすびーて 販売スタッフ 田中優子さん

八幡平アスビーテラインの
麓にある「物産館あすびー
て」。八幡平市で収穫された
野菜や果物、はちみつ、ジュー
ス、工芸品などを販売してい
る。ここで約8年にわたり、
販売員を務めているのが、田
中優子さんだ。

田中さんは、八幡平産の農
産物をこよなく愛している。

「このキャベツは雪の下キャ
ベツといって、その名のお
り、雪の下に貯蔵していたも
の。天然の冷蔵庫でゆっくり
と熟成されているから、甘く
て、サラダにしても、炒めて
もおいしいのよ。でも、冬は、
やっぱり寒締めほうれん草かし
ら。食べ方は、しゃぶしゃぶ
で味わうのが一番」

話題が野菜や果物のことにな
ると次々と続く。どの生産
者が何を育てているか、何を
よって味が微妙に異なること
を知った。ここまで熱心なの
は、「生産者の労力と想いが詰
まっている」からと話す。

「八幡平は良質な野菜や果
物が育つ地。若手生産者もが
んばっているので、農産物の
魅力をもっと広めていきたい
ですね」

農産物を通して八幡平市の
情報の発信に一役買いたいと、
日々、努力をしている。

八幡平の「おいしい」を たくさん食べてほしい

得意としているのかまでも把
握している。あまりにも詳し
いので、専門的に勉強してき
たのかと聞くと、前職はエス
テティックの広報部門で仕事
をしていたという。

「野菜については、ここに
勤めるようになってから勉強
しました。先生は、農家の人
たち。旬はいつなのか、どの
ように栽培しているのかもで
すが、保存法や料理法なども
教わりました」

こんな食べ方があったのか
と驚くこともあったという。
教わった料理は、自宅で実際
につくってみる。そして、同
じほうれん草でも生産者に

寒風が吹き、空気が乾燥する冬は、切り干
し大根づくりに適している。寒さが厳しい
ほど、良質な製品となる。



ニンジン、大根、寒締めほうれん草など。
冬でもさまざまな野菜が並ぶ。秋にはリ
ンゴの箱詰が全国に向けて発送される。

profile

たなか ゆうこ
1961年(昭和36)、青森県青
森市出身。青森市内でエステ
ティック関連の仕事につく。
19年前、結婚を機に八幡平
市へ移住。8年前から物産館
あすびーてに勤務。





3・4月の産直情報

生産者と消費者をつなげる産直。八幡平市は産直が多く、それぞれの地域の特徴を生かした農産物や特産品が置かれている。

4月下旬の岩手山。
雪は山頂に残し、麓は芽吹きを迎え、
里では田植えの準備が始まる。

たくみの里とんじゃ



地元の生産者がつくるひつまみ、大福、漬物などが人気。一番人気は手打ちそば。
※4月中旬まで営業

八幡平市戸沢129-1 TEL0195-72-2460(羽沢宅)
営業時間／8:00～17:30
定休日／1月1日～1月3日

道の駅にしね



春を代表するふきのとうをはじめ、行者ニンニク、ハウスわらび、天然クレソンなどが並ぶ。4月後半になると、天然の山菜も。

八幡平市大更2-154-36 TEL0195-75-0070
営業時間／9:00～17:00(4月～10月は9:00～18:30)
定休日／12月31日・1月1日

産直りんどうの里



大根、キャベツなどの野菜はもちろん、漬物、よもぎだんご、きりせんしょ、がんづきなどの加工品も好評。

八幡平市清水92-1 TEL0195-72-2160
営業時間／9:00～15:00
定休日／月～金曜、1月2・3日

松っちゃん市場



山菜春巻きが平日も販売！ そのほか、十割手打ちそばがおススメ。11月から6月までの土日曜、祝日限定で提供。

八幡平市松尾寄木2-512 TEL0195-78-3002
営業時間／9:00～18:00
定休日／12月30日～1月2日

戸沢生産物直売所



ごはんのお供にぴったりの、みそ大根、かぶ、たくあんなどの漬物がそろそろ。デザートにはりんごなどの果物を。

八幡平市戸沢129-1 TEL0195-72-2460(羽沢宅)
営業時間／8:00～16:30 定休日／8月14日、1月1日・1月2日

物産館あすびーて



ほうれん草、長芋、クレソン、原木しいたけが並ぶ。果汁100パーセントのりんごジュース、新蜜のはちみつも人気。

八幡平市柏台1-28 TEL0195-78-3480
営業時間／9:00～16:00(4月からは9:00～17:00)
定休日／水曜、12月31日・1月1日(4月からは水曜は営業)

冬期休業情報

❖ 安比高原直売センター

八幡平市星沢76-5 TEL 0195-72-6821
※4月下旬まで休業

❖ 畑学び舎農産物直売所

八幡平市赤坂田40-2 TEL 0195-72-6226
※5月上旬まで休業

産直大地



雪の下で育った雪ごもりキャベツは、甘くておいしく、鍋にも炒め物にもぴったり。長芋やごぼうなどの根菜類もでる。

八幡平市平館15-124 TEL0195-68-7310
営業時間／9:00～17:00 定休日／12月31日～1月3日

●積雪等天候により、営業時間の変更・臨時休業の場合があります。ご了承下さい。



炊きたてのごはんにのせて。冷奴の薬味にもおすすめ。

吹く風に春の気配が感じられるようになると、ばっけが芽を出す。「ばっけ」とはふきのとうのこと。採りたてのばっけを天ぷらや味噌汁の具として楽しむのもいいが、「ばっけ味噌」もおすすすめだ。作り方は簡単。茹でてアク抜きをしたばっけを刻んで味噌やみりんなどと一緒に炒めるだけ。味噌の甘さとばっけのほろ苦さが絶妙で、ごはんがすすむ。

ばっけ味噌に使う場合は、花が咲く前のものを使用。

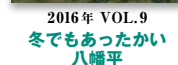
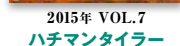
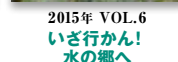
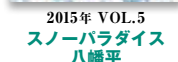
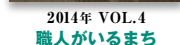
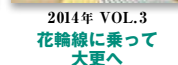
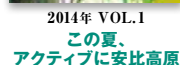


今日のひと皿

「食材を求めて産直へ」

春の到来を感じさせる

ばっけ味噌



雪におおわれた林を歩いていたら……、リスに遭遇！

ハチクラ第9号に寄せられた読者のコメントを紹介。

●以前はおいしい食材や温泉を求めて、デパートから八幡平市に移住した。自然と食の豊かなこの地に骨を埋めるつもりです。(Y.S.)

●6月中頃から7月初めまでは、3日に1度は八幡平市に通っています。山菜を友人に送るために帰りは必ず温泉に入っています。自然がたっぷりの八幡平が大好きです。(M.F.)

●夢ですが、八幡平市に移住したいです。山、川、温泉、そして紅葉……、ステキな自然の中で暮らせる八幡平が好きです。今度、安代のおつぴ亭の「八幡平ホワイト」を食べに行きたいと思っています。次回も楽しみにしています。温泉に入りながら。(S・S)

ていて、楽しみました。(N・A)

●毎回、楽しみにしています！もちろん1号から大切に保管しています。ボンネットバスに乗ってみたいくなりました。ピッキーの温泉での「ぬくだまり」も気持ちよさそう。(S・I)

●松川温泉は以前、テレビで見たときからずっと気になっていました。ボンネットバスもレトロ口です。

てきメンテナンスを重ね、40年も走っているのも驚きました。次回のハチクラもGETしたいと思います。

(K・Y)

●お出かけ日和の休日は、「八幡平スタンプラリー」を片手にドライブ。「ハチクラ」を初めて知ったときから、見つけると手に取っています。今回の松川温泉へは春の気配が感じられたころ、行ってみたいと思います。

(Y・O)

体験プログラム
安比高原を飾る自然の花めぐり

(2名1組)



いちご狩り券



●住所／〒028-7533 岩手県八幡平市叭田70
八幡平市商工会安代支所「ハチクラ」係
●応募締切／2016年5月13日(金)当日消印有効
●八幡平市商工会HP
<http://www.shokokai.com/hachimantai/>

※当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。
※今回、ご記入いただいた個人情報は、八幡平市商工会の個人情報保護方針に基づき、責任をもって管理します。本人の同意を得ずに第三者に開示することはありません。

今号「ハチクラ」はいかがでしたか。今後、充実した内容にするため、皆さまの声をお聞かせください。

1. 表紙に惹かれたから
2. 内容がおもしろそうだったから
3. 八幡平市の観光に興味があったから
4. 地元の情報を知りたかったから
5. 無料だったから

1. 特集「春がきた!」
2. 八幡平に生きる人
3. 食材を求めて産直へ「今日のひと皿」
4. プレゼント&読者アンケート
5. ビッキーと行く八幡平

【問5】 ハチクラへのご感想・ご意見をお書きください。
 ブログやFacebookへのご意見も含めて、ご記入
 ください。

フリーマガジン「ハチクラ」の取材中に得たこぼれ話、
「今日のひと皿」のレシピなどを掲載。あわせて、ご
覧ください。

<http://ameblo.jp/hachikura-ashiro>

<https://www.facebook.com/hachikura>

●「ハチクラ」は八幡平市商工会HPでもご覧いただけます。
<http://www.shokokai.com/hachimantai/>

企画・発行 八幡平市商工会 岩手県八幡平市大更35-63-85 TEL 0195-76-2040

「ハチクラ」に関する問い合わせ 八幡平市商工会安代支所 TEL 0195-63-1001

印刷所 大更印刷株式会社 岩手県八幡平市大更21-16-9 TEL 0195-76-2514

※本誌に掲載している情報は、平成28年3月1日現在のものです。発行後のデータ等が変更になっている場合があります。あらかじめご了承ください。※本誌掲載の記事・写真等の無断掲載を禁止します。
※本誌は緊急雇用創出事業により、八幡平市商工会が発行しています。

ビッキーと行く八幡平

「冒険いっぱい、思い出たくさん」

撮影地／大更



●ビッキーとは、八幡平市の非公認マスコットキャラクター。その正体は、樹上で暮らす森の住人・モリアオガエル。「大湯沼とモリアオガエル」は国指定の天然記念物です。

撮影

三浦 学

WILDGRAPE FARM・八幡平山ぶどう農園代表

澤口酒店2階で行われた「おおぶけ まちなかギャラリー」と同時開催のビッキーの写真展へ行ってきました！
ビッキーの冒険を切り取った思い出
いっぱいのパネルの前で記念写真。

写真展ではしゃいだあとは、「道の駅にしね」のレストランで「熔岩流みそカツ丼」をいただきました。杜仲茶ボークのカツに甘口の味噌が一気に疲れを取ってくれました！

- 営業時間／11月～3月 9:00～17:00、
4月～10月 9:00～18:30
- 定休日／12月31日・1月1日



ハチガキ

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2016. Vol.10

平成28年3月15日発行

発行：八幡平市商工会

Take Free